

戸田市 施策評価シート

作成日	平成30年06月08日	作成者名	五條 宏	評価者名	山上 睦只
-----	-------------	------	------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	08 着実な総合振興計画の実行に向けて	中心となる課	財務部・財政課
分野	03 効率的な行政運営	関係課	財務部・入札検査課
施策	88 健全な財政運営		会計課・会計課
施策の目的	子育てや高齢者支援をはじめ、教育や福祉など幅広い行政需要に迅速かつ確に対応できるよう、計画的かつ健全な財政運営を行います。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	会計事務費
取り組み②	土地開発公社経営健全化事業
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	H31	H32
将来負担比率	財政規模に対して市債残高・将来負担する可能性のある負債の程度を示す	%	57.1	54.9	40.4				
基金残高	財政調整、都市整備、公共施設等整備の基金残高合計（3月末）	億円	60	63.1	78.2	98.6			
土地開発公社に対する債務保証額	土地開発公社の金融機関への借入金に対する市の債務保証額	億円	26	47	35.5	25.6			
その他施策の取組事項に係る成果	平成30年度予算編成については、引き続き単独事業や経常的経費の精査のほか、臨時政策的経費の一件査定、公共施設整備に係る経費は、資産管理課との連携を図る等、組織的、効果的な予算編成を実施した。								

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<p>今後の財政見直しについては、歳入は、人口増加などにより市税収入が安定傾向にあるものの、歳出は、引き続き社会保障費が増加しているほか、公共施設の大規模修繕や都市基盤整備事業を順次実施していくため、多額の財源が必要となることが予想されている。</p> <p>さらに、適正な伝票起票の徹底や、正確な執行計画・資金管理に基づく効果的な資金運用も重要である。また入札事務においても、法令の遵守と効果的な公共調達が求められる。</p> <p>こうした課題に対応するため、中長期的な視点を持って、効率的な行政運営を推進していく必要がある。</p>	対応策	<p>今後の財政運営については、単独事業や、経常経費、政策経費等の精査による予算の適正化を推進し、公共施設の大規模修繕等について、関係部署と連携して、計画的かつ効果的な対応を図っていく。また、中長期的な財政計画を踏まえ、適正な起債と基金を活用し、健全な財政運営に努めるとともに、預金のみでなく債券を併用しての運用により収益を伸ばしていく。入札においては、公正な競争による効果的な調達を行う。</p> <p>また、庁内の階層研修等における財政研修や会計実務研修の実施により、職員の問題意識や実務の向上を図るとともに、市民へのわかりやすい財政公表に努める。</p>
----	---	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	平成29年度の財政指標は健全な範囲で推移したが、公共施設の再整備に伴い将来負担比率は高止まりしている。一方で指標に掲げる基金残高は増加した。また、土地開発公社の経営健全化の推進により、市の債務保証額残高を縮減することができた。その他、会計実務研修の実施により会計事務の正確性を高め、債券運用の併用により収益の増加を図った。
B		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	今後も厳しい財政状況の中で、予算、会計、契約等の財務全般の事務を適正に執行するため、庁内体制を強化していく必要がある。現状の人員・予算が必要となる。今後の予算編成については、限られた財源の範囲内で、より効果的な財源配分を図っていききたい。よって、今後の方向性は「維持」とした。
→		

(評価者コメント)

<p>厳しい財政状況において、市民サービスの維持・向上と健全な財政運営との両立が求められる中、主要な事業計画を把握し、より効果的な財源配分を図るなど、財政運営の効率性・健全性を高めていきたい。また、全職員が本市の財政状況を把握し、問題意識を共有できるよう、引き続き研修等を実施するとともに、市民との協働を見ずえ、新たな統一基準による公会計や広報紙を活用して、市民へのわかりやすい財政公表に努めたい。</p>

戸田市 施策評価シート

作成日	平成30年06月08日	作成者名	五條 宏	評価者名	山上 睦只
-----	-------------	------	------	------	-------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			H 31 予 算 額	事業費 うち 一般財源	
		事業コード		事業区分	H29決算額	事業の方向性	実施計画候補	評価結果				事業の方向性	実施計画候補	施策内優先度			コメント
		事業内容			H30予算額			施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性						
					H31計画額												
01 会計事務費 (会計課)																	
		会計事務費															
	01	02	01	05	01	01	義務	14,598	2	B	B	B	B	2	義	0	
								16,834									
		01 02 01 05 01 01						19,777									
		支出負担行為の確認、収支命令の審査及び出納、歳入歳出						18,350									
							62,073									0	
02 県証紙売りさばき事業 (会計課)																	
		県証紙売りさばき事業															
	01	02	01	24	02	01	任意	33,959	1	B	B	B	B	1	B	0	
								48,620									
		01 02 01 24 02 01						48,620									
		会計課、美笹支所及び戸田公園駅前出張所の各窓口にて市						0									
							4,138									0	
03 現先取引利子 (会計課)																	
		現先取引利子															
	01	12	01	02	03	01	任意	0	新規	-	-	-	-	新規	予	0	
								0									
		01 12 01 02 03 01						1,096									
		予算管理用シート (指標等未設定)						1,096									
							0									0	
計 (千円)								事業費	5,750,074	4,280,698	4,268,585	0					
								うち一般財源	4,530,787	4,038,515	4,026,214	0					

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 平成31年度で終了 8 平成30年度で終了 9 平成29年度で終了